（ 参 考 資 料 ）

## 1. 農業関係用語

| | |
|---|---|
| **農業就業人口** | 自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者 |
| **基幹的農業従事者** | 15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者 |
| **農業専従者** | 調査期日前1年間に自営農業に150日以上従事した者 |
| **農業所得** | 農業粗収益（農業経営によって得られた総収益額）－農業経営費（農業経営に要した一切の経費） |
| **農外所得** | 農外収入（自営兼業収入、給料・俸給）－農外支出（自営兼業支出、通勤定期代等） |
| **主業経営体** | 農業所得が主（世帯所得の50％以上が農業所得）で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体 |
| **準主業経営体** | 農外所得が主（世帯所得の50％未満が農業所得）で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体 |
| **副業的経営体** | 1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業経営体、準主業経営体以外の経営体） |
| **専業農家** | 世帯員の中に兼業従事者（調査期日前1年間に30日以上雇用兼業に従事した者又は調査期日前1年間に販売金額が15万円以上ある自営兼業に従事した者）が1人もいない農家 |
| **兼業農家** | 世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家 |
| **第1種兼業農家** | 農業所得の方が兼業所得よりも多い兼業農家 |
| **第2種兼業農家** | 兼業所得の方が農業所得よりも多い兼業農家 |
| **販売農家** | 経営耕地面積が30アール以上又は1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家 |
| **単一経営農家** | 農産物販売金額のうち主位部門の販売金額が8割以上の農家 |
| **複合経営農家** | 農産物販売金額のうち主位部門の販売金額が6割未満の農家 |
| **農地所有適格法人** | 農地等の権利を取得できる法人。農地法では、農地等の権利を取得できる法人は、原則として、農地所有適格法人の要件を満たすものに限られている。 |
| **農事組合法人** | 農業協同組合法に基づき3人以上の農民が発起人となって設立される、組合員の農業生産の協業を図りその共同の利益の増進を目的とする法人。<br>農事組合法人には、機械・施設等の共同利用施設の設置又は農作業の共同化を行う法人と、法人自体が耕作等農業経営を行う法人、これらを両方とも行う法人がある。 |
| **認定農業者（制度）** | 農業経営基盤強化促進法に基づく制度。経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、<br>①市町村の基本構想に照らして適切であり、②その計画の達成される見込みが確実で、③農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切である、<br>との基準に適合する農業者として、国、県、市町から認定を受けた者。<br>認定農業者には、資金等の低利融資制度、農地集積対策等の各種支援施策がある。 |
| **地域計画** | 農業経営基盤強化促進法の改正（令和5年4月）により、人・農地プランが法定化された計画。<br>地域農業者等による協議の場の結果を踏まえて、10年後の地域農業の在り方と農地利用の姿を地域毎に定め、市町が策定する。 |

**農地バンク**
**（農地中間管理機構）**

農業経営の規模拡大、農用地の集団化等による農地利用の効率化及び高度化等を図るため、「農地中間管理事業の推進に関する法律」に基づき、都道府県に1つ設置される農用地等の中間的受け皿となる組織。本県では、（公財）栃木県農業振興公社が知事の指定を受けて業務を担っている。

**機構集積協力金**

農地中間管理機構を通じた担い手への農地の集積・集約化を進めるため、農地中間管理機構に農地を貸し出した農業者等を対象に協力金を交付

**新規就農者**

過去1年間において、農業従事日数が150日未満の者が新たに就農（就業し）、年間150日以上の農業従事が見込まれる者で、次の3者をいう。
①農家後継者：親族が経営する農業経営を継承した者、また当該経営に従事する者。農家出身者で、新たに農業経営を開始した者、またその経営に従事する配偶者等
②新規参入者：非農家出身者で、新たに農業経営を開始した者、また当該経営に従事する配偶者等。非農家出身者で、親族以外の者が経営する農業経営を継承した者、また当該経営体が法人の場合に役員として従事する者。
③新規雇用就農者：親族以外の者が経営する農業法人等に新たに正規雇用として就業した者

**認定新規就農者（制度）**

農業経営基盤強化促進法に基づく制度。新たに農業経営を営もうとする青年等で、青年等就農計画を作成・申請し、
①市町村の基本構想に照らして適切であり、②その計画の達成される見込みが確実である、との認定を市町村から受けた者。
認定新規就農者には、新規就農者育成総合対策や無利子の青年等就農資金の融資、経営所得安定対策等の各種メリット措置がある。

**青年等就農資金**

新たに農業経営を営もうとする青年等（認定新規就農者）を対象に、農業経営を開始するために必要な資金を(株)日本政策金融公庫が無利子で貸し付ける制度資金

**スーパーL資金**
**（農業経営基盤強化資金）**

認定農業者を対象に、農業経営改善計画に即して農地取得や施設整備等の規模拡大その他の経営改善を図るのに必要な長期低利資金を(株)日本政策金融公庫が融通する制度資金

**農業改良資金**

農業者等が農業経営の改善を目的として、新たな農業部門の経営もしくは農畜産物の加工の事業の経営の開始、又は農畜産物もしくはその加工品の新たな生産もしくは販売の方式の導入（農業改良措置）を行う際に必要な資金を(株)日本政策金融公庫が無利子で貸し付ける制度資金（六次産業化法の認定を受けた食品加工・流通業者が、農業者が行う農業改良措置を支援する場合にも利用できる。）

**農業近代化資金**

農協等の民間金融機関からの融資に、県や市町等が利子補給することにより、農機具、農業用施設・長期運転資金などの中長期資金を低利で融通する制度資金

**農業共済制度**

自然災害等により農作物・家畜・園芸施設に損害が生じた場合に、共済金が支払われる公的な農業保険制度の一つ。農業者があらかじめ掛金を出し合い共同準備財産を造成し、損害が発生した場合、その共同財産から共済金を支払うもの。共済掛金の一部を国が負担。

**収入保険制度**

平成31年1月から開始された新しい農業保険制度。農作物の自然災害による収量減少だけではなく、価格低下などの農家の経営努力では避けられない農業収入の減少を補塡するもの。国が保険料の50%を補助。

**農業振興地域**

農振法に基づき、今後相当長期にわたり総合的に農業振興を図るべき地域として都道府県知事が指定する区域

**農用地区域**

農振法に基づき、農業振興地域内において今後相当長期にわたり農業上の利用を確保すべき土地として市町村が農業振興地域整備計画で用途（農地、採草放牧地、農業用施設用地等）を定める区域

**農地のかい廃**

田又は畑を他の地目に転換し、作物の栽培が困難となった状態の土地。かい廃は、自然災害、人為かい廃（宅地などの施設用地にするものの他、植林なども含む）によって生じる。

**農業経営基盤強化促進法に基づく利用権**

農業経営基盤強化促進法に定められられている農業上の利用を目的とする賃貸借権、使用貸借権
農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画により設定された利用権は、賃貸借権の法定更新等が適用される農地法に基づく一般の賃借権とは異なり、契約期間の満了とともに所有者に農地が返還される(再設定も可能)。

**耕作放棄地**

農業者が記入する調査(農林業センサス)における統計上の用語であり、「以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付け(栽培)せず、この数年の間に再び作付け(栽培)する意思のない土地」をいう。農業委員会による客観調査でも荒廃農地面積を把握しているため、2020センサス以降調査項目から除かれた。

**荒廃農地**

市町及び農業委員会による現地調査(「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」、令和3年以降は「遊休農地の措置状況調査」)上の用語であり、「現に耕作に供されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地」をいう。「再生利用が可能な荒廃農地」と「再生利用が困難と見込まれる荒廃農地」に分類される。

**耕地利用率**

耕地面積を100とした作付延べ面積の割合
耕地利用率(%)＝作付延べ面積÷耕地面積×100

**中山間地域等直接支払制度**

耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正する農家等への交付金により、農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄の発生を防止し多面的機能の確保を図る制度
交付対象となるのは、自然的・政治的・社会的に不利な地域にあり、かつ、農業生産条件の不利な農用地。交付を受けるには、農家が集落協定などを結び、農業生産活動等を5年間以上継続して行う必要がある。

**野菜指定産地**

キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、たまねぎ、トマト、なす、ねぎ、にんじん、はくさい、ばれいしょ、ピーマン、ほうれんそう、レタス、ブロッコリーの指定野菜15品目の生産地域であって、野菜生産出荷安定法に定める作付面積及び共販率を満たす産地について、農林水産大臣が指定する産地をいう。この指定産地で生産、出荷される野菜は、指定野菜価格安定対策事業及び契約指定野菜安定供給事業の対象野菜となる。

**野菜価格安定制度**

野菜生産出荷安定法に基づき、主要な野菜の価格が著しく低落した場合に、生産者補給金を交付することにより、野菜生産者の経営に及ぼす影響を緩和し、野菜農業の健全な発展と国民消費生活の安定を図る制度。対象となる野菜や出荷形態によって、指定野菜価格安定対策事業、契約野菜安定供給事業、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業といった事業がある。

**多面的機能支払制度**

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行うことで、地域資源の適切な保全管理を推進するとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しするための交付金制度。
交付を受けるには、①農業者のみで構成される活動組織又は②農業者及びその他の者(地域住民、団体など)で構成される活動組織を設立し、活動を5年間継続する必要がある。

**棚田地域振興法**

人口の減少、高齢化の進展等により荒廃の危機に直面している棚田地域において、棚田の保全、持続的発展及び国民生活の安定向上に寄与するための法律。(令和元年8月施行、令和7年4月改正法施行)
指定棚田地域の指定、指定棚田地域振興活動計画の認定を受けることで、関係府省庁から優遇措置を受けることができる。

**みどりの食料システム戦略**

地球温暖化や生産者の減少等による生産基盤の脆弱化、地域コミュニティの衰退等の課題に的確に対応し、持続可能な食料システムを構築することを目的に農林水産省が令和3年5月に決定。
この中で、2050年までに「農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現」、「化学農薬の使用量をリスク換算で50%低減」、「化学肥料の使用量を30%低減」、「耕地面積に占める有機農業の取組面積を25%(100万ha)に拡大」など14の目標を掲げている。

## 2. 栃木県農政のあゆみ

令和7(2025)年度

| 県 | | 国等 | |
|---|---|---|---|
| 月日 | 項目 | 月日 | 項目 |
| 4月8日 | 農業大学校入学式 | 4月18日 | 令和7年度知財功労賞表彰式(輸出・国際局長表彰) |
| 4月11日 | 就農準備校「とちぎ農業未来塾」専門研修開講式 | 6月6日～7日 | 第20回食育推進全国大会inTOKUSHIMA |
| 4月12日 | 就農準備校「とちぎ農業未来塾」基礎研修開講式 | 10月25日<br>～26日 | 第16回全日本ホルスタイン共進会 |
| 4月29日 | 第1回農業大学校いちご学科オープンキャンパス | | |
| 5月7日 | 農業大学校生による知事夫妻へのカーネーション贈呈 | | |
| 5月13日 | 高校教育研究会農業部会総会 | | |
| 5月13日 | 県農業再生協議会　第1回通常総会 | | |
| 5月23日 | とちぎ外国人材活用促進協議会総会 | | |
| 5月26日 | 第1回とちぎ食育推進連絡会 | | |
| 5月28日 | 農業・農村男女共同参画研修会 | | |
| 5月30日 | 農業大学校オープンキャンパス(県内農業高校向け) | | |
| 6月3日 | グリーン・ツーリズム出前講座(UAゼンセン) | | |
| 6月8日 | とちぎで農作業体験会(なし・ぶどう編) | | |
| 6月22日 | 第1回農業大学校オープンキャンパス | | |
| 6月24日 | 農家民宿開業セミナー(県南) | | |
| 7月1日 | 第1回栃木県産農産物ブランド化推進会議 | | |
| 7月1日 | 栃木県持続的畜産経営推進会議 | | |
| 7月10日 | 農家民宿開業セミナー(県央) | | |
| 7月14日 | グリーン・ツーリズム出前講座(市民活動団体「大人の広場」) | | |
| 7月22日 | 農業関係高等学校長会と農業大学校との教育懇談会 | | |
| 7月23日 | 第1回栃木県農村地域資源保全向上対策委員会 | | |
| 7月24日 | 有機農業実践研修(講義) | | |
| 7月26日 | トチノフェア2025夏～とちぎの農業者と語ろう～ | | |
| 7月26日 | 有機農業実践研修(講義) | | |
| 7月29日 | 栃木県産農産物輸出促進会議 | | |

| 県 | | 国等 | |
|---|---|---|---|
| 月日 | 項目 | 月日 | 項目 |
| 7月29日 | 畜産関係研究セミナー（草地飼料部会） | | |
| 7月31日 | 農作業安全対策研修会　－熱中症対策研修－ | | |
| 8月1日～8月31日 | 栃木県民牛乳消費拡大月間（とちぎ☆夏ミルク） | | |
| 8月2日 | 新・農業人フェア 農業就職・転職LIVE@東京出展 | | |
| 8月4日 | 栃木県産農産物ブランド化推進アイデア会議 | | |
| 8月4日 | 農産物輸出促進セミナー | | |
| 8月5日 | 農業雇用改善研修会 | | |
| 8月6日 | とちぎグリーン農業推進会議・推進セミナー | | |
| 8月7日 | とちぎ農ある暮らし推進協議会（第1回） | | |
| 8月7日 | グリーン・ツーリズム出前講座（埼玉県立杉戸農業高校） | | |
| 8月7日 | 「いちご王国」プロモーション推進委員会 | | |
| 8月7日 | 「いちご王国・栃木」戦略会議 | | |
| 8月7日 | さつまいも研究会現地見学会（茨城県） | | |
| 8月19日 | とちぎDE農あるワーク＆ライフセミナー | | |
| 8月21日 | 有機農業実践研修(視察研修・県内) | | |
| 8月21日 | 栃木県農村生活研究グループリーダー研修会 | | |
| 8月21日 | 令和7年度畜産GAP現地研修会 | | |
| 8月23日 | とちぎで始める！農ある暮らし体験交流会 | | |
| 8月23日 | 農業総合研究センター公開デー～創設130周年～ | | |
| 8月23日 | 有機農業実践研修(視察研修・県内) | | |
| 8月24日 | 第2回農業大学校オープンキャンパス | | |
| 8月31日 | 第1回とちぎの農業法人見学ツアー（土地利用型） | | |
| 9月5日 | 第1回経営発展・法人化研修会 | | |
| 9月11日 | 有機農業実践研修(視察研修・県外) | | |
| 9月12日～16日 | 新たなテーマツーリズム推進のための海外旅行会社招請（アメリカ、オーストラリア） | | |
| 9月15日 | 新・農業人フェア 農業EXPO@東京出展 | | |
| 9月17日 | グリーン・ツーリズム出前講座（栃木農業高校） | | |

| 県 | | 国等 | |
|---|---|---|---|
| 月日 | 項目 | 月日 | 項目 |
| 9月19日 | 第1回雇用管理者向け研修会 | | |
| 9月20日 | 有機農業実践研修(視察研修・県外) | | |
| 9月20日～21日 | とちぎ農村ファン交流会”農村Meet Up!2025” | | |
| 9月26日 | 栃木県産農産物ブランド化推進会議ロゴマーク選定検討会 | | |
| 9月28日 | 農業大学校いちご学科第1回一般入学試験 | | |
| 9月30日 | グリーン・ツーリズムネットワーク第1回研修会 | | |
| 10月2日 | 第6期農業・農村男女共同参画ビジョン第1回検討委員会 | | |
| 10月2日 | 第2回とちぎ食育推進連絡会 | | |
| 10月4日～5日 | とちぎの農×観光 しごと見学ツアー | | |
| 10月9日 | 令和8年産いちご「とちあいか」初出荷 | | |
| 10月15日 | グリーン・ツーリズム出前講座(鹿沼南高校) | | |
| 10月15日～17日 | 農福連携技術支援者育成研修(実地研修) | | |
| 10月17日 | 第2回雇用管理者向け研修会 | | |
| 10月19日 | 第2回農業大学校いちご学科オープンキャンパス | | |
| 10月20日 | 農村地域活躍人材育成講座(いちごの里) | | |
| 10月20日 | 関西圏シェフ等産地視察 | | |
| 10月21日 | 第2回経営発展・法人化研修会 | | |
| 10月29日 | 第3回雇用管理者向け研修会 | | |
| 10月31日 | 県営土地改良事業の換地業務に係る知事感謝状贈呈式 | | |
| 10月31日～11月1日 | とちぎの食と農魅力発見フェア2025 | | |
| 11月5日 | 全国いちご推進会議 | | |
| 11月6日 | 農家民宿開業セミナー(県北) | | |
| 11月7日 | 第4回雇用管理者向け研修会 | | |
| 11月10日 | 第6期農業・農村男女共同参画ビジョン第2回検討委員会 | | |
| 11月12日 | 農業大学校創立120周年記念式典 | | |
| 11月12日 | 栃木県担い手躍進大会 | | |
| 11月12日 | 「いちご王国・栃木」戦略会議 | | |

| 県 | | 国等 | |
|---|---|---|---|
| 月日 | 項目 | 月日 | 項目 |
| 11月13日 | 農薬管理指導士養成研修 | | |
| 11月15日 | トチノフェア2025秋～とちぎで農業をはじめよう～ | | |
| 11月17日 | 第3回経営発展・法人化研修会 | | |
| 11月18日 | 第42回栃木県肉用牛総合共進会【種牛の部】 | | |
| 11月19日 | 第2回栃木県産農産物ブランド化推進会議 | | |
| 11月21日 | 土地利用型園芸産地の販売力強化に向けた研修会 | | |
| 11月22日 | 農大祭～創設120周年記念～ | | |
| 11月23日 | 新・農業人フェア 農業EXPO@東京出展 | | |
| 11月25日 | 農泊による地域活性化に向けたシンポジウム | | |
| 11月25日～30日 | オーストラリアにおける県産牛肉のテストマーケティング | | |
| 11月28日 | 第42回栃木県肉用牛総合共進会【肥育の部】 | | |
| 11月28日 | ノウフクの日in栃木県庁 | | |
| 12月 | 東南アジア及び香港における県産青果物プロモーション（品目：なし、実施国・地域：香港・ベトナム・タイ・マレーシア・インドネシア） | | |
| 12月1日 | 栃木県卸売市場有識者会議 | | |
| 12月1日～12月31日 | 栃木県民牛乳消費拡大月間（とちぎ☆冬ミルク） | | |
| 12月～2月 | 台湾における県産青果物プロモーション（品目：いちご・梨、実施国：台湾） | | |
| 12月3日 | 令和7年度「いちご王国」アンバサダー委嘱式 | | |
| 12月7日 | 農業大学校いちご学科第2回一般入学試験 | | |
| 12月9日 | 農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針の見直しに係る説明会 | | |
| 12月11日 | アスパラガス生産振興大会 | | |
| 12月13日 | とちぎで農作業体験会（ネギ・キャベツ編） | | |
| 12月15日 | グリーン・ツーリズムネットワーク第2回研修会 | | |
| 12月15日 | 畜産関係研究セミナー（肉用牛部会） | | |
| 12月15日～20日 | とちぎの魅力発信事業（ベトナム・台湾トップセールス） | | |
| 12月17日 | 農業参入フェア2025（東京）出展 | | |
| 12月17日 | 県農業再生協議会　第2回通常総会 | | |
| 12月17日 | 農業大学校「花粉交配用蜜蜂の飼養管理」特別講義 | | |

| 県 | | 国等 | |
|---|---|---|---|
| 月日 | 項目 | 月日 | 項目 |
| 12月17日～21日 | 「いちご王国・栃木」Christmas Special 5 days（あべのハルカス近鉄本店） | | |
| 12月18日 | 耕畜連携推進研修会 | | |
| 12月19日 | 令和7(2025)年度普及指導活動外部評価会 | | |
| 12月19日 | 第2回栃木県農村地域資源保全向上対策委員会 | | |
| 12月20日 | 新規参入促進現地セミナーinとちぎ | | |
| 12月22日 | 農村地域活躍人材育成講座（ろまんちっく村） | | |
| 12月22日 | 令和7年度土地利用型作物セミナー | | |
| 12月～2月 | 東南アジア及び香港における県産青果物プロモーション（品目：なし、実施国・地域：香港・ベトナム・タイ・マレーシア・インドネシア） | | |
| 12月～2月 | 台湾における県産青果物プロモーション（品目：いちご・なし、実施国：台湾） | | |
| 12月～3月 | 東南アジア及び香港における県産青果物プロモーション（品目：いちご、実施国・地域：香港・タイ・マレーシア） | | |
| 1月7日 | 令和7年度 栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式 | | |
| 1月7日 | 農業大学校一般入学試験（前期） | | |
| 1月8日 | 畜産関係研究セミナー（酪農部会） | | |
| 1月10日～2月28日 | 大切な人にいちごを贈ろう運動キャンペーン | | |
| 1月13日 | とちあいか食味コンテスト | | |
| 1月13日 | ICT活用工事研修会 | | |
| 1月14日 | にら生産振興大会 | | |
| 1月15日～2月19日 | とちあいかのいちごまつり（新宿駅） | | |
| 1月16日 | 露地野菜マッチング商談会 | | |
| 1月16日 | とちぎ農ある暮らしセミナー＆座談会 | | |
| 1月16日～18日 | 海外インフルエンサーによるいちごオーナー体験イベントと農村地域周遊の情報発信（台湾） | | |
| 1月17日 | 就農準備校「とちぎ農業未来塾」基礎研修閉講式 | | |
| 1月18日 | 「いちご王国・栃木の日」記念イベント | | |
| 1月19日 | 農家民宿おもてなし力向上セミナー | | |
| 1月21日～2月14日 | 阪神のバレンタイン2026での「いちご王国・栃木」PR（阪神百貨店梅田本店） | | |
| 1月22日 | 栃木県産農産物統一ロゴマーク「とちぎ育ち」公表 | | |
| 1月23日 | 「園芸大国とちぎづくり」露地野菜セミナー | | |

| 県 | | 国等 | |
|---|---|---|---|
| 月日 | 項目 | 月日 | 項目 |
| 1月23日～27日 | 「いちご王国・栃木」Strawberry Marche（羽田空港） | | |
| 1月23日～2月15日 | いちごのレストランフェア（サンシャインシティ） | | |
| 1月25日 | 第3回農業大学校いちご学科オープンキャンパス | | |
| 1月28日 | 農業用ため池対策研修会 | | |
| 1月29日 | とちぎ外国人材活用促進協議会農業部会セミナー | | |
| 1月30日～2月1日 | 第74回関東東海花の展覧会 | | |
| 1月～2月 | 香港における県産コメプロモーション | | |
| 1月～2月 | 米国における県産いちごの試験輸出及び市場調査 | | |
| 2月1日～28日 | 栃木ブランド食材フェア2026 | | |
| 2月1日～28日 | とちぎの地産地消推進店デジタルスタンプラリー | | |
| 2月3日 | 農産物直売所セミナー | | |
| 2月4日 | 農事功績者表彰受章祝賀会・地域セミナー | | |
| 2月6日 | 栃木県農業大賞表彰式 | | |
| 2月6日 | 営農構想発表会 | | |
| 2月7日～3月15日 | とちあいかPremium キャンペーン（関西圏） | | |
| 2月10日 | 令和7年度カメムシ防除対策セミナー | | |
| 2月11日 | 新・農業人フェア 農業就職・転職LIVE＠東京出展 | | |
| 2月12日 | 第5回雇用管理者向け研修会 | | |
| 2月12日 | 令和7年度　栃木県農業青年研究大会 | | |
| 2月14日 | 第2回とちぎの農業法人見学ツアー（いちご、露地野菜） | | |
| 2月15日 | 農業大学校一般入学試験（後期） | | |
| 2月15日 | 農業大学校いちご学科第3回一般入学試験 | | |
| 2月17日～21日 | 米国における県産いちごの試験輸出及び市場調査 | | |
| 2月19日 | 畜産関係研究セミナー（養豚・環境部会） | | |
| 2月20日 | 農作業安全研修　－危険予知訓練研修－ | | |
| 2月21日～23日 | ヨコハマストロベリーフェスティバル「全国いちご会議」とコラボレーション | | |
| 2月22日 | 食と農業を考えるフォーラムブース出展 | | |

| 県 | | 国等 | |
|---|---|---|---|
| 月日 | 項目 | 月日 | 項目 |
| 2月24日 | 新規就農者研修受入農家研修会 | | |
| 2月24日 | アグリライフ・フォーラム2025 | | |
| 2月26日 | グリーン・ツーリズムネットワーク活動報告会 | | |
| 2月26日 | 令和7年度米づくりセミナー | | |
| 2月27日 | 第6期農業・農村男女共同参画ビジョン第3回検討委員会（書面） | | |
| 3月4日 | とちぎ女性農業者フォーラム | | |
| 3月4日～18日 | 第3回栃木県農村地域資源保全向上対策委員会 | | |
| 3月6日 | さつまいも研究会研修会 | | |
| 3月6日 | 中山間地域スマート農業研修会 | | |
| 3月9日 | とちぎの園芸流通対策連絡会議 | | |
| 3月9日 | とちぎ農ある暮らし推進協議会（第2回） | | |
| 3月9日 | 農業における気候変動対策セミナー | | |
| 3月10日 | 農業総合研究センター130周年記念講演会 | | |
| 3月11日 | 就農準備校「とちぎ農業未来塾」専門研修閉講式 | | |
| 3月13日 | 農業大学校卒業式 | | |
| 3月13日 | 第1回消費者需要に対応した牛肉生産研究会 | | |
| 3月13日 | 第3回とちぎ食育推進連絡会 | | |
| 3月13日 | とちぎ食育推進研修会 | | |
| 3月14日 | 第21回食育推進全国大会inとちぎプレイベント | | |
| 3月18日 | グリーン・ツーリズム出前講座（栃木県農村生活研究グループ協議会） | | |
| 3月23日 | 栃木県大区画化等推進協議会設立総会 | | |

## 3. 令和7年度の主な農業関係表彰受賞者一覧

※順不同

| NO | 表彰行事名 | 受賞部門<br>（品目） | 受賞者 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 組織名・氏名 | 市町等 |
| 1 | 豊かなむらづくり全国表彰事業（農林水産大臣賞） | むらづくり | 株式会社美土里農園 | 茂木町 |
| 2 | 第7回栃木県農業大賞 | 農業経営の部<br>（大賞（農林水産大臣賞）） | 株式会社　雄 | 真岡市 |
| | | 農村活性化の部<br>（大賞（関東農政局長賞）） | 株式会社<br>道の駅東山道伊王野 | 那須町 |
| | | 芽吹き力賞<br>（知事賞） | 山本　毅 | 芳賀町 |
| | | | 増田 佳久・増田 仁美 | 矢板市 |
| | | | 株式会社<br>ＴＥＲＡファーム | 栃木市 |
| 3 | 第16回いちご王国グランプリ<br>（大賞（農林水産大臣賞）） | いちご | 石田　篤史・友美 | 真岡市 |
| 4 | 令和7年度栃木県花の展覧会<br>（最優秀賞（農林水産大臣賞）） | 一般鉢物の部 | 谷澤 清三 | 日光市 |
| 5 | 令和7年度栃木県花き立毛共進会<br>（最優秀賞（農林水産大臣賞）） | スプレーギクの部 | 藤平 泰宏 | 市貝町 |
| 6 | 第42回栃木県肉用牛総合共進会<br>【黒毛和種】（最優秀賞・農林水産大臣賞）<br>【交雑種】（最優秀賞・関東農政局長賞） | 肥育の部（黒毛和種） | 磯野 均 | 那珂川町 |
| | | 肥育の部（交雑種） | 松山 敏幸 | 下野市 |
| | | 種牛の部（黒毛和種） | 高久 淳平 | 那須町 |
| 7 | 第27回全農肉牛枝肉共励会（名誉賞） | 和牛去勢の部 | 町井 一貴 | 鹿沼市 |
| 8 | 第55回日本農業賞（県代表） | 個別経営の部 | 株式会社Kuni’sファーム | 上三川町 |
| 9 | 第53回毎日農業記録賞（最優秀賞） | 一般部門 | 福田　大樹 | 鹿沼市 |
| 10 | 令和７年度 全国優良経営体表彰<br>（経営局長賞・全国担い手育成総合支援協議会会長賞） | 経営改善部門<br>（全国担い手育成総合支援協議会会長賞） | 株式会社山田農園 | 真岡市 |
| | | | 農事組合法人石那田ファーム | 宇都宮市 |
| | | | 株式会社　鶴田ファーミング | 足利市 |
| 11 | 令和７年度優良担い手表彰事業<br>（最優秀賞・知事賞） | 優良認定農業者（個人経営体の部） | 福田　正英<br>福田　美幸 | 高根沢町 |
| | | 優良認定農業者（組織経営体の部） | 株式会社　ＦＡＲＭ1739 | 那須町 |
| 12 | 令和7年度関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰（最優秀賞） | | 磯町の自然を守る会 | 鹿沼市 |
| 13 | 令和７年度栃木県農業青年研究大会 | プロジェクト発表の部 | 渡邊　正樹 | 大田原市 |
| | | 意見発表の部 | 岩本　健太郎 | 高根沢町 |
| 14 | 令和7年度知的財産権制度活用優良企業等表彰 | 知財功労賞<br>輸出・国際局長表彰 | 栃木県 | |
| 15 | 令和７年度農業委員会等農林水産大臣表彰 | 農地等の利用の最適化の推進に関する顕著な功績 | 上三川町農業委員会 | 上三川町 |
| | | | 大田原市農業委員会 | 大田原市 |